



ごみ問題を考えるつどい

とき 5月17日 土曜日 1時30分～

ところ 大豆島公民館 2階

講師

渋谷謙三氏

- ・元町田市職員
- ・環境自治システム研究所 所長
- ・東京都豊島区リサイクル清掃審議会 会長代理
- ・神奈川県逗子市廃棄物減量等推進審議会 委員
- ・市町村自治体の市民自治・参画による街づくりや、環境・ごみ問題の解決に取り組む。

- ・ごみの発生・排出抑制
- ・ごみを燃やさない・埋め立てない方式に
- ・リスクの分散化
- ・市民と共に考えて進める



Shibusawa Kenzo



まず施設建設ありきでは無く
どうすればごみが減量され、住みよい環境を子供や孫達に残せるのか
多くの方と考え、語り合いごみ問題を考える輪を広げましょう！！
焼却場を抱える町、大豆島から長野市、長野県、いえ日本中に発信しましょう！
つどい終了後 3時30分～4時30分まで総会を行います
ごみ問題考える会に賛同していただける方の**当日加入も大歓迎**です

環境省に聞いてみました

Q 容器リサイクル法で、プラスチックを圧縮梱包するように義務付けられているのでしょうか？



A、プラスチックを圧縮するのは、リサイクル業者に運びやすくする為、容器リサイクル協会の指定の大きさに圧縮し、全国の入札ルートにのせる為です。

Q、近くにリサイクル業者があっても全国どこに行くか分からないんですか？

A、入札価格には運賃も入るので、近くの業者の方が安い価格になるので、大体近くの業者になると思います。

Q、リサイクル処理施設ではすぐに圧縮を解いて破碎処理すると聞いていますが、それでも一箇所に集めて圧縮する必要があるのでしょうか？

A、プラスチック容器包装の保管施設は、住宅地などには造れないし、何処にでも造れる物じゃないので、一箇所に集めて処理し、保管する事になります。

Q、私たちの住宅の近くに建設される予定なのですが・・・リサイクル処理業者は市内に3ヶ所あり、近いところでは数百メートルのところにありますが、それでも圧縮梱包する施設が必要なののでしょうか？

A、入札ルートにはのらない為、価格は安定しませんが、そういうところのために「独自ルート」というのがあり、圧縮しないで直接業者に運ぶ方法もあります。

7億2000万円もかけて 本当に必要な施設でしょうか？

もし、長野市内のリサイクル処理施設で処理するとしたら・・・？

圧縮梱包のみをする施設は必要でしょうか。

もし、他県、他市で処理するとしたら・・・？

大豆島、いえ善光寺平は長野市中のプラスチックを圧縮し、他市や他県のプラスチックをリサイクル処理する、化学物質汚染の吹き溜まりの地となるでしょう。

7億2000万円あれば どんな願いが叶うでしょうか？！

環境対策

小中学校で全て30人学級を実現・・・

教育費の保護者負担軽減・・・

介護保険料の引き下げ・・・医療費の補助・・・

農業、林業、商業を守るための補助・・・

給食センター、保育園も民間に委託せず市が責任を持って運営する・・・

税金を使って、して欲しい事は山ほど有ります。

公聴会

5月6日



変更内容
・名称変更

焼却場
↓
清掃センター

敷地面積拡大 三、六〇〇㎡

焼却場
・破砕選別施設
・圧縮梱包施設

連休明けの平日の昼間にこの公聴会は開かれました。

考える会からの五人を含む六人が、市の職員十数名がずらりと並んで緊張感漂う中、それぞれの思いを公述しました。（全文は「考える会」まで）

もう、お役目は

果たしました・・・

もう炉も老朽化して、点検費用が毎年四、五億円もかかっているそうですね。

もう私たちの地域ではお役目を果たしました。今回三つの施設が集中する事を行政は正しいと判断されるのですか。

長野市の都市計画に責任あり

責任あり

清掃センターのある地域一帯は宅地化が進んでいる。その中で面積の拡大と名称を変更するのは、一層不適切な状況を作り出すことになる。ごみ処理場と宅地はもっとはっきり分離すべき。不燃ごみの安全性も問題。

尊重すべき協定を

ないがしろに

昭和四八年松岡区と長野市で、迷惑施設が拡張される事への歯止めが必要と、「もつこれ以上拡張しない」と協定を結んでいるにもかかわらず、その後二度も土地を拡張している。

計画を進めるための既成事実にしないで

一極集中の議論をなぜしないのですか。

過去の協定書がないがしろにされ、市長との懇談での約束も無視されている。

今回の変更でますます処理施設が集中することへの不安を感じる。この公聴会も計画を進めるための既成事実にししないで欲しい。

なぜ、いまごろ？

不燃ごみの破砕施設は平成八年に建設され、敷地面積も平成十一年に購入されています。それなのになぜ、今頃、法的な変更をするのでしょうか。

大豆島は宅地化が進む一方、長野市の人口も増え、近隣八町村のごみも来て、ごみの総量が増えている。

住民合意形成への

手続きに大きな問題

清掃センターの半径三百mに焼く三百世帯以上が生活しているが、昨年三月の建設用地決定が、多くの住民に知られないまま、合理性のみ考慮され進められた。今後、住民合意の無いまま進める事はごみ処理行政に大きな禍根を残す。

市長との懇談の確認事項の回答

長野市は強引に計画を押し進めています。

去る、四月九日、十一月七日に市長と懇談した際の約束をその後四回の要望書でお願いしてもきちんと回答を頂いてなかったため、改めて提出しました。（質問及び回答の全文は考える会まで）

一、分散化について具体的な計画を
・広域連合全体で役割分担、今後具体的な計画を提示する

二、複合汚染についての検討をする。

・住民の推薦する専門家との話しをする
・施設建設前、稼動後に行い地元提示
・必要があれば専門委員さんと協議する
三、松岡だけでなく上区にも理解を得る。署名についてどう考えていますか

・松岡区から安全対策の徹底など条件に承諾いただいた。周辺環境に影響がない施設とする事で、周辺の皆さんのご理解を頂きたい。

四、ビデオで足りなければ実際見に行ってください。ビデオのような小規模ではない所の紹介

・前回（ビデオでご理解いただいた）の回答でご理解いただきました。

長野市が大豆島に建設し様としている規模・内容の処理施設は何度聞いても一度も回答がありません

私たちの意見はプラスチックの不燃ごみ？

集めるときは、分別で、

細かく砕いて 結局可燃

長野市は一般競争入札で、13JVに指名した。

入札は5月15日午前9時から
往原一新東JV（JV=ジョイントベンチャー）
川崎重工業中部建設工業JV
極東開発一北條JV
栗本一野村JV
神鋼一守谷JV
JFEエンジニアリング千広JV
住友重機械一高木JV
住友金属一松代JV
タクマー飯島特定JV
日立造船一北野JV
三菱レーヨン一滝澤JV
三菱一北信特定JV
ユニチカ一川中島JV

6月議会で決定
このまま進められていいのでしょうか？！



四月二十四日（木曜日）

十四人の参加者で、

長野市清掃センターの見学会を行いました。

小林所長から、ごみ処理にかかわる現在の状況や、施設の説明の後、清掃センターの施設についてビデオを見ました。

参加者からは、
Q「リサイクルの細分化を今後、どのように考えているのか教えてほしい」
Aパソコンなど拡大生産者責任で処理する種類が多くなった
Q「三十八億かけた修理の内容を説明してほしい」
A電気集塵機からバグフィルターに代えた
Q「不燃ごみが、どのように処理されているのかビデオをつくって欲しい」

A小学校4年生を対称に造っているの・・・
Qぜひ検討してください
約一時間の説明の後、施設の見学に行きました。

清掃センター内は外から見てより大きく驚きの声がありました。中でも不燃ごみの処理施設は五階まであり、皆階段をフーフー言いながら登っていました。センターの職員の方の説明を真剣に聞き、それぞれ、日頃なかなか聞けないことを質問し、有意義な一日でした。

不燃ごみについては、破砕をして、磁選機などで、資源（鉄・アルミ）・可燃（プラスチック類）・埋立てとに分けられ、4割は燃やしているとのことでした。プラスチック圧縮梱包施設建設の件では、「杉並とは違う」と、杉並病との関係否定しておられました。が、「不燃ごみを圧縮」するだけではなく、「破砕処理」し、こちらの安全対策について十分な説明と施設についてビデオもなく、現場も見学できなかったため、次回は不燃ごみの処理施設を中心に市民に分かりやすく説明していただきたいと思っています。

見学参加者の感想

・プラスチックの油や化粧品容器、又発泡スチロールなどは、不燃ごみとして集められています。破砕機にかけて、結局燃やしているという事なので、それなら可燃ごみとして出したほうがいいのでは・・・

・実際に入って大きいのにびっくりした。

・不燃ごみが資源・可燃などに分けられることについて具体的に示してほしい。

・不燃ごみの安全性は大丈夫か
・周辺住宅地では匂いがあるが、市の人は聞いた事がないと行っておられたので、市の責任で、周辺地域の聞き取り調査をして欲しい。
・焼却場の改修に毎年4、5億円もかかっていると聞き驚きました。

